

2023年3月24日

各位

 SHINSEI SUSTAINABLE
IMPACT ASSESSMENT

 会社名 株式会社 SBI 新生銀行
 代表者名 代表取締役社長 川島 克哉
 (コード番号 : 8303 東証スタンダード市場)

【サステナブルインパクト】株式会社アウトソーシングとの ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

当行は、株式会社アウトソーシング(東京都千代田区、代表取締役会長兼社長 土井春彦、以下、「借入人」との間で、当行をアレンジャーとするシンジケーション形式による「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」として、コミットメントライン契約書を締結いたしました。本件は当行を含む計3行による協調融資です。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、国連環境計画・金融イニシアティブが定義するファイナンスであり、環境、社会、経済のいずれの側面においても重大なネガティブインパクトを適切に緩和・管理することを前提に、少なくとも一つの側面においてポジティブなインパクトを生み出すファイナンスをいいます。当行では、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施するために「SBI 新生銀行 ポジティブ・インパクト・ファイナンス実施フレームワーク」を策定しており、同フレームワークの「ポジティブインパクト金融原則」への適合性に関して、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より第三者意見を取得しています。

借入人を含むアウトソーシンググループは、製造派遣やIT関連分野を中心とした技術者派遣、在留外国人向け就労支援サービスなどを手掛ける人材サービス企業です。「労働格差をなくし、生き甲斐が持てる職場を創出することで、世界の人々の人生を豊かにする。」を経営理念に掲げ、「世界の様々な人々の「就業機会」と「教育機会」の創造を事業を通じて実現」するというサステナビリティ方針を実践しています。2021年2月には「アウトソーシンググループ SDGs 宣言」を策定し、自社の重要課題(マテリアリティ)として、「就業機会の提供」や「質の高い教育の提供」等を特定し、これらに紐づく2030年目標を設定しています。

組成額	合計 45 億円	
アレンジャー行	SBI 新生銀行	
参加金融機関	SBI 新生銀行、山陰合同銀行、島根銀行 (五十音順)	
資金使途	運転資金	
【インパクトカテゴリー(トピック)】 対応する活動/取組施策	KPI	目標
① 【生計、社会経済(雇用、経済収束)】 ・ 在留外国人の就労サポートの提供	在留外国人の就労サポート人数	500,000 人 (2030 年)
② 【生計、資源とサービスの入手可能性、アクセスと可能性、手ごろさ、品質(教育、雇用、賃金)】 ・ キャリアアップ教育全般の提供	キャリアアップ教育等(資格取得や商品知識等の教育を含む)の教育・研修プログラムの受講人数及び想定受講人数	300,000 人(累計) (2030 年)
③ 【健全な経済(中小企業の繁栄)】 ・ 高度な専門性を有する人材の派遣	生産性向上のスペシャリスト人材の人数	100,000 人 (2030 年)
④ 【公平性と正義(ジェンダー平等)】 ・ 女性活躍推進プロジェクト、キャリア面談の実施	女性管理職比率	30% (2030 年)
⑤ 【生計、健康および安全性(賃金、労働安全衛生)】 ・ 安全・衛生に関する各種取組の実施	労災認定数	2022 年度の 10% 減(2023 年)

※当行が提供するポジティブ・インパクト・ファイナンスや、「SBI 新生銀行 ポジティブ・インパクト・ファイナンス実施フレームワーク」については、当行 Web サイト(https://www.sbishinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/pif/)をご参照ください。

以上

お問い合わせ先

SBI新生銀行 グループIR・広報部

報道機関のみなさま: SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp

株主・投資家のみなさま: SBIShinsei_IR@sbishinseibank.co.jp